

typeL 主装置
システムデータ設定ツール
取扱説明書

Netcommunity SYSTEM

αNX typeL

主装置タイプ / サーバタイプ

Netcommunity SYSTEM

αNXII typeL

主装置タイプ / サーバタイプ

Smart Netcommunity

αN1 typeL

目次

各種登録・設定

パソコンを使って登録・設定をするには

（システムデータ設定ツール）	1
システムデータ設定ツールの準備	1
システムデータ設定ツールで行える登録・設定	4
主装置と接続してシステムデータ設定を行う	6
一般ユーザ向けデータ項目の登録・設定	7
保守ユーザ向けデータ項目の登録・設定	14
ホテルユーザ向けデータ項目の登録・設定	21
エラーメッセージ一覧	22

パソコンを使って登録・設定するには (システムデータ設定ツール)

主装置にLAN接続されたパソコンでシステムデータ設定ツールを起動することにより、主装置のさまざまな機能を登録・設定することができます。

本ツールで登録・設定することができる主装置は以下のとおりです。

- ・ ネットコミュニティαNX typeL (バージョン：V5.50/V8.20)
- ・ ネットコミュニティαNXⅡ typeL (バージョン：V4.00)
- ・ スマートネットコミュニティαN1 typeL (バージョン：V4.50)

システムデータ設定ツールの準備

本システムデータ設定ツール用のインストーラを使用して、パソコンに本ツールをインストールします。

パソコンの推奨するスペックは以下のとおりです。

○使用条件 (2020年1月現在)

項目	スペック
OS	Windows8.1 無印 (32ビット版/64ビット版) Windows8.1 Pro (32ビット版/64ビット版) Windows10 Home (32ビット版/64ビット版) Windows10 Pro (32ビット版/64ビット版)
CPU	Intel (R) Core (TM) i5-4590と同等かそれ以上のプロセッサ
表示	1280×1024以上
LAN	10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-TX
RAM	4GB以上
HDD	40GB以上の空き領域
その他	.NET Framework 4.8 (注) .NET Framework 4.8 は、インストーラに同梱

※ Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Microsoftの商標は予告なく変更される場合があります。

【インストール】

① インストーラ (SettingToolSetup.exe) を起動する

Windowsの設定により、警告画面が表示される場合がありますが、[実行]をクリックしてください。

注意：SettingToolSetup.exe以外のインストーラとの同時実行は行わないようにしてください。

② .NET Framework 4.8 がインストールされていない場合、.NET Framework 4.8のインストーラが起動するので、インストールを行う

I. 以下の画面が表示されるので[同意する(A)]をクリックする

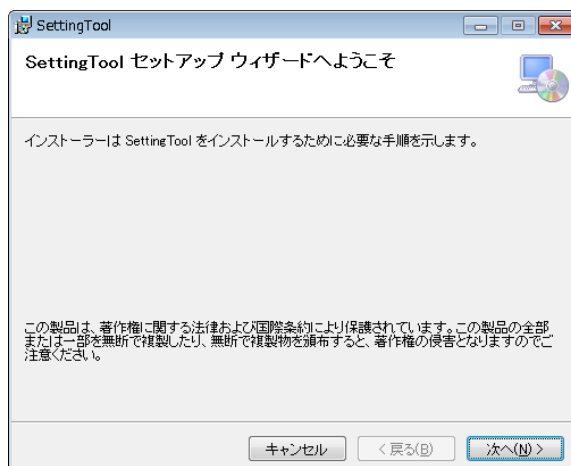


注意：[同意する(A)]をクリック後、.NET Framework 4.8のインストールのキャンセルは行わないようにしてください。

II. .NET Framework 4.8 のインストール完了後、パソコンの再起動を促すメッセージが出た場合はパソコンを再起動する

III. パソコンの再起動後、インストールが再開されない場合は、再度インストーラ (SettingToolSetup.exe) を起動する

③ セットアップウィザードが表示されるので、表示された内容に従って操作する



【アンインストール】

- ① アンインストールはWindowsの機能で行う
Windows8.1の場合は「プログラムと機能」から、Windows10の場合は「アプリと機能」から行います。
詳細については、Windowsのヘルプ等を参照してください。

本ツールが出力したログ等は、アンインストール後も以下のディレクトリに残ります。
不要な場合は削除してください。

・C:¥setting_tool

【操作説明】

- ① パソコンを主装置とLAN接続する
- ② パソコンでツールを起動(※1)し、入力欄に以下を入力し、[ログイン]ボタンを押下する
 - ・主装置のIPアドレス
 - ・ログインパスワード
- ③ メニューより設定する項目を選択し、設定画面で必要なデータを設定し[読出]および[書込]を押下する
設定したデータは[書込]を押下時に有効となります。
- ④ データ設定終了後、[ログアウト]を押下する
ログアウトすると初期画面へ戻ります。
- ⑤ 画面右上の「×」ボタンをクリックし、ツールを終了させる(※2)

※1 ツールは以下のいずれかの方法で起動することができます。

- ・スタートメニューから「SettingTool」をクリック
- ・デスクトップにある「SettingTool」をダブルクリック
- ・「C:¥setting_tool¥SettingTool.exe」をダブルクリック

※2 正常にログアウトしなかった場合、再度ログインするには約5～10分待ってからログインしてください。

【備考】

- (1)従来の「Webデータ設定」はWebアプリケーションとして、ブラウザ上で機能を提供していましたが、本「システムデータ設定ツール」はデスクトップアプリケーションとして提供するものです。
そのため、以下の違いがあります。
 - ・レイアウト
 - ・ブラウザが提供していた機能(印刷、画面の拡大/縮小など)は未提供
- (2)アプリケーションの利用中に主装置との通信が切断された場合、初期画面へ戻ります。
なお、再度ログインするには約5～10分、経過する必要があります。
- (3)本ツールを終了する場合、かならずログアウトしてください。

システムデータ設定ツールで行える登録・設定

主装置と接続する際のログインパスワードによって、登録・設定できるデータ項目が異なります。

分類	データ項目	概要	△：メニュー設定あり ◎：特番操作あり
一般ユーザ向け (個々に使用する 電話機について簡 単なデータを設定 できます)	端末名称	内線番号とともにディスプレイに表示させる端末の名称を設定する(⇒P7)	—
	着信音設定	外線の着信音を設定する(⇒P7)	△ ◎
	発信自動捕捉キー	ハンドセットを上げるかスピーカボタンを押したときに自動捕捉する回線ボタンの順番を設定する(⇒P8)	—
	着信自動捕捉キー	ハンドセットを上げるかスピーカボタンを押したときに応答する回線ボタンの順番を設定する(⇒P8)	—
	個別電話帳登録	個々の内線電話機で使用する電話帳の登録、個別電話帳のグループ名の登録、個別電話帳グループごとの着信ランプ色と着信音色の設定を行う(⇒P9)	△ ◎
	ワンタッチダイヤル登録	ワンタッチボタンにワンタッチダイヤルを登録する(⇒P10)	△
	ヘッドセット設定	ヘッドセットを使用しない/使用するを設定する(⇒P10)	△ ◎
	着信履歴/ランプ制御	外線・内線の着信時刻や発信者の電話番号などを記録する機能を設定/解除する(⇒P11)	△
	SIP端末設定	SIP端末の関連内容を設定する(⇒P11)	—
	バックライト設定	ディスプレイのバックライト点灯/消灯を設定する(⇒P12)	△
	サービスロック状態	サービスロックの状態を確認する(⇒P12)	△
	着信自動捕捉対象外回線キー 発番号表示	着信自動捕捉キー設定をしていない場合に着信鳴動時の発番号を表示する/表示しないを設定する(⇒P13)	△
	一般パスワード変更	一般ユーザ向けのログインパスワードを変更する(⇒P13)	—

パソコンを使って登録・設定するには (システムデータ設定ツール)

分類	データ項目	概要	△：メニュー設定あり ◎：特番操作あり
保守ユーザ向け (システムで共通のデータを設定できます)	内線番号変更	内線電話機の内線番号の変更を行う (⇒P14)	—
	端末着信鳴動設定	放送着信時に着信音を鳴らす回線ボタンを設定する (⇒P14)	—
	保留音設定	保留メロディを選択する (⇒P15)	△ ◎
	共通電話帳登録	すべての内線電話機で使用できる共通電話帳の登録や共通電話帳のグループ名の登録、グループごとの着信拒否、共通電話帳グループごとの着信ランプ色と着信音色の設定を行う (⇒P15)	△
	カレンダー/時計設定	時計機能の日付および時刻を設定する (⇒P16)	△
	システムリポート予約/解除	システムに対し、日時を指定してリポート指示を行う (⇒P17)	—
	事業者識別番号付与	携帯電話に電話をかけるとき、あらかじめ設定された事業者識別番号の自動付与を設定する (⇒P17)	—
	電話帳連動制御	電話帳連動対象および電話帳検索時の桁数を設定する (⇒P17)	△
	IP電話機のアドレス読み出し	メディアIP電話機のアドレスの読み出しを行う (⇒P17)	—
	主装置ファームウェアの更新	主装置ファームウェアのチェックおよびダウンロードを行う (⇒P17)	—
	休日モード月日設定	休日としたい月日を設定する (⇒P18)	—
	休日モード曜日設定	休日としたい曜日を設定する (⇒P19)	—
	モード曜日/モードパターン設定	曜日毎に切り替えパターンを指定して切り替えパターン毎に昼/夜/休憩モードを設定する (⇒P19)	—
	保守パスワード変更	保守ユーザ向けのログインパスワードを変更する (⇒P20)	—
一般パスワード初期化	一般ユーザ向けのログインパスワードをお買い求め時の設定にする (⇒P20)	—	
ホテルユーザ向け (祝日と料金テーブルを設定できます)	祝日設定	祝日を設定する (⇒P21)	◎
	料金テーブル設定	客室から国内/国際/携帯電話などへ発信した通話料金を計算するときに使用する料金テーブルを設定する (⇒P21)	◎
	ホテルパスワード設定	ホテルユーザ向けのログインパスワードを変更する (⇒P21)	—



お知らせ

- 登録・設定できる項目はお使いの主装置により異なります。登録・設定できる項目については主装置に同梱されている取扱説明書「Webシステム設定(P4-10)」を参照ください。

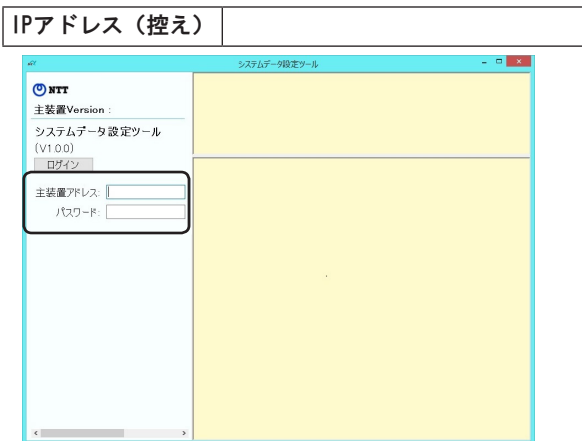
パソコンを使って登録・設定するには (システムデータ設定ツール)

主装置と接続して システムデータ設定を行う

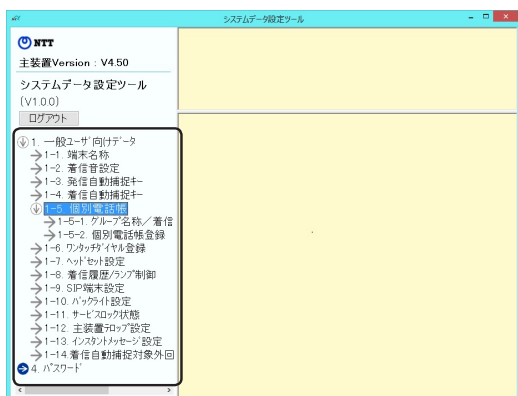
- ① システムデータ設定ツールを起動する
- ② 主装置アドレスおよびパスワードを入力し、[ログイン] ボタンをクリックする

ログインパスワードには一般ユーザ向け、保守ユーザ向け、ホテルユーザ向けのいずれかのパスワードを入力します。入力するパスワードによって、操作できるシステムデータ設定のデータ項目が異なります。

主装置のIPアドレスは設置時に工事担当者にご相談のうえ、お決めください。



- ③ 画面左側の項目一覧で、目的のデータ項目をクリックする



クリックしたデータ項目の設定画面が表示されます。

- ④ データ設定を行う
設定操作については、データ項目のページを参照してください。

1-1. 端末名称

No	内線番号	名称	ERROR STATUS
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

- ⑤ [書込] ボタンをクリックする
データが主装置に設定されます。



ワンポイント

- [読出] ボタンと [書込] ボタンについて
主装置の現在の設定内容を表示することを「読み出し」といい、パソコンで入力した内容を主装置に設定することを「書き込み」といいます。システムデータ設定のほとんどの画面では、読み出しを実行しないと、書き込みはできません。
[読出] ボタン：データを入力して [読出] ボタンをクリックすると、現在の設定内容が表示されます。まとめてデータを入力してから [読出] ボタンをクリックすることもできます。
[書込] ボタン：データの入力終了後に [書込] ボタンをクリックすると、主装置にデータが設定されます。
- 読み出し前の状態に戻すには
[リセット] ボタンをクリックします。



お知らせ

- ログインパスワードは主装置に同梱されている取扱説明書「Webシステム設定 (P4-10)」を参照ください。
- 内線番号を指定する項目については、その内線番号の電話機からWebデータ設定許可用の特番 (⑨ ⑤ ⑦ []) または「システム設定」によりWebデータ設定許可にしておく必要があります。Webデータ設定禁止用の特番 (⑨ ⑤ ⑥ []) または「システム設定」により、Webデータ設定禁止にするとその内線番号の電話機に対してデータを設定することができなくなります。

一般ユーザ向けデータ項目の 登録・設定

個々の電話機について登録・設定します。保守ユーザのパスワードでログインしたときにも操作できます。

■ 端末名称を設定する

- ① 内線番号（半角）を入力する
- ② [読出] ボタンをクリックする
- ③ 名称（最大全角6文字、半角12文字）を入力する
端末名称なしにするときは名称を消去して書き込み
を実行してください。
- ④ [書込] ボタンをクリックする

■ 着信音を設定する

機能	決定	マイク	フック	発信履歴	内線
	1	2	3		短縮
	4	5	6		スピーカ
	7	8	9		
	*	0	#		保留

回線ボタンの表示は、読み出した電話機の回線数により変わります。

- ① 内線番号（半角）を入力する
- ② [読出] ボタンをクリックする
- ③ 回線ボタンをクリックし、着信音を選択する
- ④ [書込] ボタンをクリックする

■ 発信自動捕捉の順序を設定する

ハンドセットを上げるか、スピーカボタンを押したときに、自動捕捉する回線ボタンの順序を設定します。

1-3. 発信自動捕捉キー

内線番号 リモット 半角数字4桁以内

端末種別

端末名称

捕捉順変更開始

LK 1	LK 2	LK 3	LK 4	LK 5	LK 6
LK 7	LK 8	LK 9	LK 10	LK 11	LK 12
LK 13	LK 14	LK 15	LK 16	LK 17	LK 18
LK 19	LK 20	LK 21	LK 22	LK 23	LK 24
LK 25	LK 26	LK 27	LK 28	LK 29	LK 30
LK 31	LK 32	LK 33	LK 34	LK 35	LK 36

機能	決定	マイク	フック	発信履歴	内線
	1	2	3		短縮
	4	5	6		スピーカ
	7	8	9		
	*	0	#		保留

回線ボタンの表示は、読み出した電話機の回線数により変わります。

- ① 内線番号（半角）を入力する
 - ② [読出] ボタンをクリックする
 - ③ 「捕捉順変更開始」ボタンをクリックする
 - ④ 優先して捕捉したい回線ボタンから順番にクリックする
 - ⑤ [書込] ボタンをクリックする
- ※捕捉順を修正する場合は、「捕捉順変更開始」ボタンをクリックし、捕捉順1から設定し直します。

■ 着信自動捕捉の順序を設定する

ハンドセットを上げるか、スピーカボタンを押したときに、自動捕捉する回線ボタンの順序を設定します。着信自動捕捉と端末着信鳴動が設定されている外線着信のみ、発信者番号と発信者氏名表示がされます。

1-4. 着信自動捕捉キー

内線番号 リモット 半角数字4桁以内

端末種別

端末名称

捕捉順変更開始

LK 1	LK 2	LK 3	LK 4	LK 5	LK 6
LK 7	LK 8	LK 9	LK 10	LK 11	LK 12
LK 13	LK 14	LK 15	LK 16	LK 17	LK 18
LK 19	LK 20	LK 21	LK 22	LK 23	LK 24
LK 25	LK 26	LK 27	LK 28	LK 29	LK 30
LK 31	LK 32	LK 33	LK 34	LK 35	LK 36

機能	決定	マイク	フック	発信履歴	内線
	1	2	3		短縮
	4	5	6		スピーカ
	7	8	9		
	*	0	#		保留

回線ボタンの表示は、読み出した電話機の回線数により変わります。

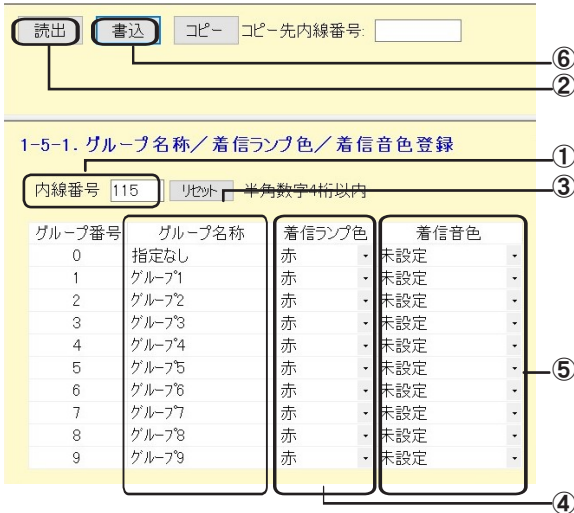
- ① 内線番号（半角）を入力する
 - ② [読出] ボタンをクリックする
 - ③ 「捕捉順変更開始」ボタンをクリックする
 - ④ 優先して捕捉したい回線ボタンから順番にクリックする
 - ⑤ [書込] ボタンをクリックする
- ※捕捉順を修正する場合は、「捕捉順変更開始」ボタンをクリックし、捕捉順1から設定し直します。



お知らせ

- 内線番号を指定する項目については、その内線番号の電話機からWebデータ設定許可用の特番（ ⑨ ⑤ ⑦ [] ）または「システム設定」によりWebデータ設定許可にしておく必要があります。Webデータ設定禁止用の特番（ ⑨ ⑤ ⑥ [] ）または「システム設定」により、Webデータ設定禁止にするとその内線番号の電話機に対してデータを設定することができなくなります。

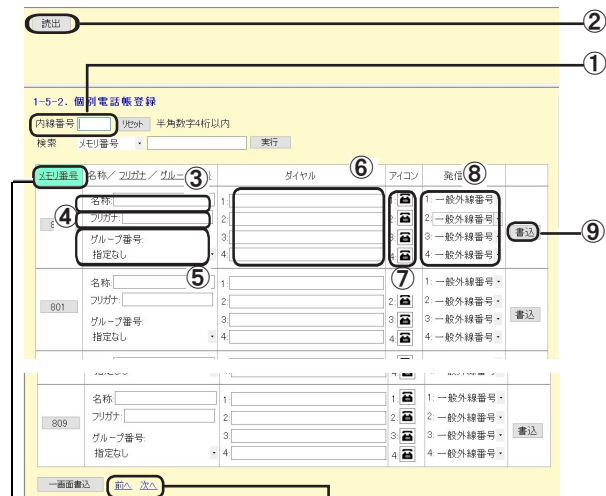
■ 個別電話帳グループの名称、着信ランプ色、着信音色を設定する



- ① 内線番号(半角)を入力する
- ② [読出] ボタンをクリックする
- ③ グループ名称(最大全角10文字、半角20文字)を入力する
- ④ 着信ランプ色(8色)を選択する
- ⑤ 着信音色(着信音色1~8、着信メロディ1~8、「未設定」)を選択する
- ⑥ [書込] ボタンをクリックする

■ 個別電話帳を登録する

1端末ごとにメモリ番号200件の電話帳を登録することができます。メモリ番号1つにつき、最大4つの電話番号を登録できます。



クリックすると、メモリ番号の順序が昇順/降順に切り替わります。

前後の画面を表示するには、「前へ」ボタン、「次へ」ボタンをクリックします。

- ① 内線番号(半角)を入力する
- ② [読出] ボタンをクリックする
- ③ 名称(最大全角10文字、半角20文字)を入力する

- ④ フリガナ(最大半角12文字)を入力する
- ⑤ グループ番号(「指定なし」、グループ1~9)を選択する
- ⑥ 電話番号(最大32桁、「*」「#」「ポーズ:P1s ~ P9s)を含む)を入力する
- ⑦ アイコン(9種類)を選択する
- ⑧ 発信属性を選択する
「一般外線番号」、「PBX内線番号」、「内線番号」から選択します。
- ⑨ [書込] ボタンをクリックする



ワンポイント

- デジタルコードレス電話機をご利用の場合はデジタルコードレス電話機の内線番号を入力して読み出しを行うと、デジタルコードレス接続装置とデジタルコードレス電話機の選択画面が表示され、選択された端末の回線ボタン設定画面が表示されます。
- 電話帳を検索するには [検索] 欄で、メモリ番号を選択するか、文字や数字を入力して [実行] ボタンをクリックすると、該当する電話帳のデータが表示されます。共通電話帳件数が800件(お買い求め時)に設定されている場合、使用できるメモリ番号は000~999です。「システム設定」で共通電話帳件数が19800件に設定されている場合、使用できるメモリ番号は00000~19999です。
- 10件分の電話帳をまとめて書き込むには表示されている10件分の電話帳をまとめて書き込むには、画面下部の「一画面書込」ボタンをクリックします。



お知らせ

- 電話帳に複数の電話番号を登録するときは、電話番号1~4の間を空けずに入力してください。電話番号1と3のみ入力して書き込みが行われた場合、電話番号3は電話番号2として書き込まれます。
- 使用できる共通電話帳の件数はお使いの主装置により異なります。使用できる件数については主装置に同梱されている取扱説明書「電話帳ダイヤル(P2-17)」を参照ください。

■ ワンタッチダイヤルを登録する

⑤ 読出 書込

②

1-6. ワンタッチダイヤル登録 ①

内線番号 リセット 半角数字4桁以内

端末種別

端末名称

全削除 一文字削除 コピー 貼り付け

1	2	3	4	5	6
-	-	-	-	-	-
7	8	9	10	11	12
-	-	-	-	-	-
13	14	15	16	17	18
-	-	-	-	-	-
19	20	21	22	23	24
-	-	-	-	-	-
One 1	One 2	One 3	One 4	One 5	One 6
編集	-	-	-	-	-
One 7	One 8	One 9	One 10	One 11	One 12
-	-	-	-	-	-

機能 決定 マイク フック 発信履歴 内線

コンソール	1	2	3	短縮
コンソールNo	<input type="text" value="1"/>	4	5	スピーカ
コンソール内LK	<input type="text" value="1"/>	7	8	ポーズ
	*	0	#	保留

※「コンソール」は、コンソール端末をご利用の場合のみご入力ください。

④

③

- ① 内線番号（半角）を入力する
- ② [読出] ボタンをクリックする
- ③ 設定するワンタッチボタンの場所をクリックする
現在のデータが表示され、変更できるようになります。
- ④ 最大32桁（「*」、「#」、「P（ポーズ：3秒固定）」等も含む）を指定する
- ⑤ [書込] ボタンをクリックする

■ ヘッドセットを使用しない／使用するを設定する

読出 書込

④

②

1-7. ヘッドセット設定 ①

内線番号 リセット 半角数字4桁以内

使用しない

使用する ③

- ① 内線番号（半角）を入力する
- ② [読出] ボタンをクリックする
- ③ 「使用しない」 / 「使用する」を選択する
- ④ [書込] ボタンをクリックする

■ 着信履歴／ランプ制御を設定する

内線ボタン、外線ボタンごとに着信履歴を残す／残さないを設定することができます。なお、残す場合は着信履歴ランプを点滅させる／点滅させないを設定することができます。

機能	決定	マイク	フック	発信履歴	内線
1	2	3			短縮
4	5	6			スピーカ
7	8	9			
*	0	#			保留

- ① 内線番号（半角）を入力する
- ② [読出] ボタンをクリックする
- ③ 外線ボタンまたは [内線] ボタンをクリックする
「残さない」 → 「残す / OFF」 → 「残す / ON」が切り替わります。
残さない : 着信履歴を残さない
残す / OFF : 着信履歴を残し、未応答時に着信履歴ランプを点滅しない
残す / ON : 着信履歴を残し、未応答時に着信履歴ランプを点滅させる
- ④ [書込] ボタンをクリックする

■ SIP端末を設定する

発信番号の先頭に外線捕捉番号を通知しない／通知するを設定します。

- ① 内線番号（半角）を入力する
- ② [読出] ボタンをクリックする
- ③ SIP外線捕捉番号通知を選択する
- ④ 設定後、[書込] ボタンをクリックして書き込みを実行する

■ バックライトを設定する

ディスプレイの照明（バックライト）の点灯／消灯を選択することができます。また、動作時に指定した時間のみ点灯するようにも設定できます。

- ① 内線番号（半角）を入力する
- ② [読出] ボタンをクリックする
- ③ 「常時消灯」、「常時点灯」、「動作時点灯」のいずれかをクリックする
 常時消灯 : 常時消灯する
 常時点灯 : 常時点灯する
 動作時点灯 : ハンドセットを上げたとき、ボタンを押したとき、電話がかかってきたときなどに指定した時間点灯する
- ④ 「動作時点灯」を選択した場合は「点灯時間」を選択（01～99秒）する
- ⑤ [書込] ボタンをクリックする

■ サービスロック状態を確認する

各端末の機能がサービスロックで制限されているかどうかを確認できます。

サービス番号	サービスロック状態
1: 回線発信	
2: 電話帳アクセス	
3: 発着信履歴の読出し	
4: メニュー設定	

- ① 内線番号（半角）を入力する
- ② [読出] ボタンをクリックする

■ 一般ログインパスワードを変更する

- ① 新規のパスワード（半角英数字4～8文字）を入力する
- ② 確認用のパスワードを入力する
- ③ [書込] ボタンをクリックする



お知らせ

- 再度パスワードを変更する場合には、1回ログアウトを行ってください。

■ 着信自動捕捉対象外回線キー発番号表示を設定する

- ① 内線番号(半角)を入力する
- ② [読出] ボタンをクリックする
- ③ 「表示しない」/「表示する」を選択する
- ④ [書込] ボタンをクリックする

保守ユーザ向けデータ項目の 登録・設定

内線電話機に共通の登録・設定を行います。一般ユーザやホテルユーザのパスワードでログインしたときには操作できません。

■ 内線番号を変更する

- ① 内線番号（半角）を入力する
- ② [読出] ボタンをクリックする
- ③ 新しい内線番号（最大4桁）を入力する
※内線番号の桁数は「システム設定」で決められています。
- ④ [書込] ボタンをクリックする

■ 着信音を鳴らす回線ボタンを設定する

外線着信時に、着信音を鳴らす回線ボタンを設定します。着信音は、着信音設定で設定します。

No.	機能	決定	マイク	フック	発信履歴	内線
1	なし	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-	-
0	-	-	-	-	-	-
*	-	-	-	-	-	-
#	-	-	-	-	-	-

回線ボタンの表示は、読み出した電話機の回線数によって変わります。

- ① 内線番号（半角）を入力する
- ② [読出] ボタンをクリックする
- ③ 回線ボタンをクリックする
「昼」→「夜」→「休憩」→「昼夜-」→「昼-休憩」→「-夜休憩」→「昼夜休憩」→「なし」が切り替わります。
※昼/夜/休憩は、システムモードを表します。
- ④ [書込] ボタンをクリックする

■ 外線保留音を設定する

2-3. 保留音設定

- 保留音源無し(無音)
- 瞳がほほえむから(今井美樹)
- Here comes the sun(ビートルズ)
- ハイホー(ディズニー)
- 未来予想Ⅱ(Dreams Come True)
- I NEED TO BE IN LOVE(カーペンターズ)
- パッフェルベルのカノン
- チャイム1
- チャイム2
- 保留1
- 保留2

リセット

選択を解除するとき
クリックします。

- ① [読出] ボタンをクリックする
- ② 曲名を選択する
- ③ [書込] ボタンをクリックする

■ 共通電話帳グループの名称、着信ランプ色、着信音色を設定する

2-4-1. グループ名称/着信ランプ色/着信音色登録

グループ番号	グループ名称	着信ランプ色	着信音色
0	指定なし	赤	未設定
1	グループ1	赤	未設定
2	グループ2	赤	未設定
3	グループ3	赤	未設定
4	グループ4	赤	未設定
5	グループ5	赤	未設定
6	グループ6	赤	未設定
7	グループ7	赤	未設定
8	グループ8	赤	未設定
9	グループ9	赤	未設定

- ① [読出] ボタンをクリックする
- ② グループ名称(最大全角10文字、半角20文字)を入力する
- ③ 着信ランプ色(8色)を選択する
- ④ 着信音色(着信音色1~8、着信メロディ1~8、「未設定」)を選択する
- ⑤ [書込] ボタンをクリックする

■ 共通電話帳を登録する

システム全体で共通に使用する電話帳(最大19800件)を登録することができます。メモリ番号1つにつき、最大4つの電話番号を登録できます。

2-4-2. 共通電話帳登録

前後の画面を表示するには、「前へ」ボタン、「次へ」ボタンをクリックします。

- ① [読出] ボタンをクリックする
- ② 名称(最大全角10文字、半角20文字)を入力する
- ③ フリガナ(最大半角12文字)を入力する
- ④ グループ番号(「指定なし」、グループ1~9)を選択する
- ⑤ 電話番号(最大32桁、「*」「#」「ポーズ:P1s ~ P9s」を含む)を入力する
- ⑥ アイコン(9種類)を選択する
- ⑦ 発信属性を選択する
「一般外線番号」、「PBX内線番号」、「内線番号」から選択します。
- ⑧ [書込] ボタンをクリックする



ワンポイント

● 電話帳を検索するには
[検索] 欄で、メモリ番号を選択するか、文字や数字を入力して [実行] ボタンをクリックすると、該当する電話帳のデータが表示されます。
共通電話帳件数が800件(お買い求め時)に設定されている場合、使用できるメモリ番号は000~999です。「システム設定」で共通電話帳件数が19800件に設定されている場合、使用できるメモリ番号は00000~19999です。

● 10件分の電話帳をまとめて書き込むには
表示されている10件分の電話帳をまとめて書き込むには、画面下部の [一面書込] ボタンをクリックします。



お知らせ

● 電話帳に複数の電話番号を登録するときは、電話番号1~4の間を空けずに入力してください。電話番号1と3のみ入力して書き込みが行われた場合、電話番号3は電話番号2として書込まれます。

● 使用できる共通電話帳の件数はお使いの主装置により異なります。使用できる件数については主装置に同梱されている取扱説明書「電話帳ダイヤル(P2-17)」を参照ください。

■ 共通電話帳グループ着信拒否を設定する

2-4-3. 共通電話帳グループ着信拒否

グループ番号	処理種別	内線番号
0	なし	
1	なし	
2	なし	
3	なし	
4	なし	
5	なし	
6	なし	
7	なし	
8	なし	
9	なし	

- ① [読出] ボタンをクリックする
- ② 処理種別を選択する
- ③ 「音声メールトーク」、「指定内線」のいずれかを選択した場合、最大4桁の内線番号を入力する
※内線番号の桁数は「システム設定」で決められています。
- ④ [書込] ボタンをクリックする

■ 個別電話帳グループ着信拒否を設定する

2-4-4. 個別電話帳グループ着信拒否

グループ番号	処理種別
0	なし
1	なし
2	なし
3	なし
4	なし
5	なし
6	なし
7	なし
8	なし
9	なし

- ① [読出] ボタンをクリックする
- ② 処理種別を選択する
- ③ [書込] ボタンをクリックする

■ 日付・時刻を設定する

2-5. カレンダー/時計設定

年月日 []年 []月 []日 時計 [24時間表示] []時 []分 [リセット]

- ① [読出] ボタンをクリックする
- ② 時刻表示を選択する
24時間制（お買い求め時）か12時間制（AM/PM）を選択できます。
- ③ 西暦の下2桁、月（2桁）、日（2桁）を入力する
- ④ 時（2桁）、分（2桁）を入力する
- ⑤ [書込] ボタンをクリックする

■ システムリポートを予約／解除する

- ① リポートする日時を指定する
 - ② [書込] ボタンをクリックする
- ※ 現在の日時と予約した日時が表示されます。
 ※ リポート予約されていない場合は、リポート予約済日時に「一年一月一日一時一分」と表示されます。
 ※ 予約中に解除を選択して書き込みをすると、予約が解除されます。
 ※ リポート予約した場合には、主装置がリポートする前に必ずログアウトしてください。

■ 事業者識別番号付与を設定する

- ① [読出] ボタンをクリックする
- ② 「自動付与しない」/「自動付与する」を選択する
- ③ [書込] ボタンをクリックする

■ 電話帳連動制御と電話帳の検索桁数を設定する

- ① [読出] ボタンをクリックする
- ② 連動される電話帳を選択する
- ③ 電話帳検索桁数 (4~12) を選択する
- ④ [書込] ボタンをクリックする

■ メディアIP電話機のアドレス読み出しを行う

接続されているメディアIP電話機について、端末種別、内線番号、端末名称、IPアドレスを表示することができます。

※SIP端末は対象外です。

前後のデータを表示させるときにクリックします。

- ① [読出] ボタンをクリックする
- ② メディアIP電話機の情報を確認する
「端末種別」、「内線番号」、「端末名称」、「IPアドレス」のいずれかをクリックすると、クリックした項目の昇順/降順が切り替わります。

■ 主装置ファームウェアを更新する

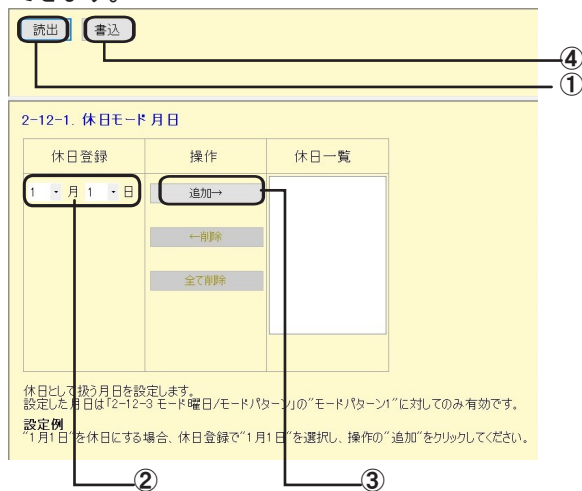
- ① [読出] ボタンをクリックする
バージョンアップセンターに新しいファームウェアがあるかチェックします
- ② チェックの結果を確認する
主装置系ファームウェア、IP外線制御部ファームウェアそれぞれの右側に次のいずれかのメッセージが表示されます。ただし、主装置系ファームウェアは、(3)の表示はありません。
 (1) 最新ファームウェア有り：
[書込] ボタンでダウンロードを開始する
 (2) 重要最新ファームウェア有り：
[書込] ボタンでダウンロードを開始する
 (3) 緊急適用ファームウェア有り：
自動的にダウンロードが開始される
 (4) 最新ファームウェア無し

パソコンを使って登録・設定をするには (システムデータ設定ツール)

- メッセージが(1)か(2)のときは、[書込] ボタンをクリックする
最新ファームウェアのダウンロードを開始します。正常にダウンロードが開始すると、②の位置に「ダウンロードを開始しました。」とメッセージが表示されます。
- ※ ダウンロード中は、システムデータ設定端末および「システム管理者」端末のディスプレイに「ファームウェアダウンロード中」と表示されます。ダウンロードが終了すると、「ファームウェアダウンロード済」と表示されます。また、通信エラーなどでダウンロードが失敗した場合は、「ファームウェアダウンロード失敗」と表示されます。
- ※ ②の問い合わせ結果は、システムデータ設定端末および「システム管理者」端末のディスプレイにも表示されます(ただし、最新ファームウェアなしの場合はディスプレイには表示されません)。
- ※ サーバーへの問い合わせ、およびダウンロードは、システムで同時に複数の操作で実行することはできません。
システムデータ設定端末および「システム管理者」端末からの操作で、もうすでにサーバーへの問い合わせやダウンロードが開始されている場合、②の位置に「他の方法で問い合わせ中またはダウンロード中です。」と表示されます。システムデータ設定端末および「システム管理者」端末での操作を確認してください。
- ※ 緊急適用ファームウェアのダウンロード中に、主装置系ファームウェアのダウンロードは行えません。主装置系ファームウェアのダウンロードを行う場合は、現在のダウンロードが完了した後にもう一度[読出] から実行してください。
- ※ システム設定によっては、自動的にファームウェアのダウンロードが開始されたり、その後しばらく電話が使えなくなる場合がありますのでご注意ください。

■ 休日モード月日設定

休日としたい月日を設定します。最大60個の休日が登録できます。



- ① [読出] ボタンをクリックする
現在の設定内容および [書込] ボタンが表示されます。
- ② 休日とする月日を選択する
- ③ [追加] ボタンをクリックする
[休日一覧] リストに登録されます。
- ④ [書込] ボタンをクリックする



ワンポイント

- 休日を削除するには
[休日一覧] リストから任意の休日を選択し(複数選択可能)、[削除] ボタンをクリックすると、選択した休日が削除されます。
- 全ての休日を削除するには
[全て削除] ボタンをクリックすると、休日が全て削除されます。



お知らせ

- 休日は、モードパターン1 (⇒P19) の設定にしたがってシステムモードが切り替わります。

パソコンを使って登録・設定をするには (システムデータ設定ツール)

■ 休日モード曜日設定

休日としたい曜日を設定します。
曜日(日～土)毎に平日、休日を設定することができます。

2-12-2. 休日モード曜日

週No	日	月	火	水	木	金	土
第1週	<input checked="" type="radio"/> 平日 <input type="radio"/> 休日	<input checked="" type="radio"/> 平日 <input type="radio"/> 休日	<input checked="" type="radio"/> 平日 <input type="radio"/> 休日	<input checked="" type="radio"/> 平日 <input type="radio"/> 休日	<input checked="" type="radio"/> 平日 <input type="radio"/> 休日	<input checked="" type="radio"/> 平日 <input type="radio"/> 休日	<input checked="" type="radio"/> 平日 <input type="radio"/> 休日
第2週	<input checked="" type="radio"/> 平日 <input type="radio"/> 休日	<input checked="" type="radio"/> 平日 <input type="radio"/> 休日	<input checked="" type="radio"/> 平日 <input type="radio"/> 休日	<input checked="" type="radio"/> 平日 <input type="radio"/> 休日	<input checked="" type="radio"/> 平日 <input type="radio"/> 休日	<input checked="" type="radio"/> 平日 <input type="radio"/> 休日	<input checked="" type="radio"/> 平日 <input type="radio"/> 休日
第3週	<input checked="" type="radio"/> 平日 <input type="radio"/> 休日	<input checked="" type="radio"/> 平日 <input type="radio"/> 休日	<input checked="" type="radio"/> 平日 <input type="radio"/> 休日	<input checked="" type="radio"/> 平日 <input type="radio"/> 休日	<input checked="" type="radio"/> 平日 <input type="radio"/> 休日	<input checked="" type="radio"/> 平日 <input type="radio"/> 休日	<input checked="" type="radio"/> 平日 <input type="radio"/> 休日
第4週	<input checked="" type="radio"/> 平日 <input type="radio"/> 休日	<input checked="" type="radio"/> 平日 <input type="radio"/> 休日	<input checked="" type="radio"/> 平日 <input type="radio"/> 休日	<input checked="" type="radio"/> 平日 <input type="radio"/> 休日	<input checked="" type="radio"/> 平日 <input type="radio"/> 休日	<input checked="" type="radio"/> 平日 <input type="radio"/> 休日	<input checked="" type="radio"/> 平日 <input type="radio"/> 休日
第5週	<input checked="" type="radio"/> 平日 <input type="radio"/> 休日	<input checked="" type="radio"/> 平日 <input type="radio"/> 休日	<input checked="" type="radio"/> 平日 <input type="radio"/> 休日	<input checked="" type="radio"/> 平日 <input type="radio"/> 休日	<input checked="" type="radio"/> 平日 <input type="radio"/> 休日	<input checked="" type="radio"/> 平日 <input type="radio"/> 休日	<input checked="" type="radio"/> 平日 <input type="radio"/> 休日

休日として扱う曜日を設定します。
設定した曜日は12-12-3 モード曜日/モードパターン1の「モードパターン1」に対してのみ有効です。
設定例
各週の土日を休日設定する場合、第1～5週の土曜日及び日曜日で「休日」を選択してください。

- ① [読出] ボタンをクリックする
現在の設定内容および [書込] ボタンが表示されます。
- ② 週毎の曜日について、平日または休日を選択する
- ③ [書込] ボタンをクリックする



お知らせ

- 毎月、同じ設定が反映されます。
- 休日は、モードパターン1 (⇒P20) の設定にしたがってシステムモードが切り替わります。
- 平日は、モード曜日の設定モードパターン (⇒右記) にしたがってシステムモードが切り替わります。

■ モード曜日/モードパターン設定

曜日毎に切り替えパターンを指定し、切り替えパターン毎に昼/夜/休憩モードを設定することができます。
切替Noは、パターン1～パターン8。モードパターンは、最大10件設定可能です。

2-12-3. モード曜日/モードパターン

曜日	切替No	用語
日	パターン1	設定
月	パターン1	設定
火	パターン1	設定
水	パターン1	設定
木	パターン1	設定
金	パターン1	設定
土	パターン1	設定

システムモードは以下の3つから選択します。
システムモード
・昼モード
・夜モード
・休憩モード
パターンは1日にシステムモードが切り替わる時刻を設定するものです。
パターンは1日にシステムモードが切り替わる時刻を設定するものです。
パターンは1日にシステムモードが切り替わる時刻を設定するものです。
パターンは1日にシステムモードが切り替わる時刻を設定するものです。

切替No	切替時刻(時/分)	モード	設定
1	指定なし	昼モード	設定
2	指定なし	昼モード	設定
3	指定なし	昼モード	設定
4	指定なし	昼モード	設定
5	指定なし	昼モード	設定
6	指定なし	昼モード	設定
7	指定なし	昼モード	設定
8	指定なし	昼モード	設定
9	指定なし	昼モード	設定
10	指定なし	昼モード	設定

システムモードを切り替える時刻を設定します。
休日には「モードパターン1」に対してのみ有効です。

平日にシステムモードを以下のように切り替える場合
No.1 指定あり(指定時刻: 08時0分、モード: 夜モード)
No.2 指定あり(指定時刻: 08時0分、モード: 昼モード)
No.3 指定あり(指定時刻: 12時0分、モード: 休憩モード)
No.4 指定あり(指定時刻: 13時0分、モード: 昼モード)
No.5 指定あり(指定時刻: 18時0分、モード: 夜モード)
No.6-10 指定なし

- ① [読出] ボタンをクリックする
現在の設定内容および [書込] ボタンが表示されます。
- ② 曜日毎切替Noの [設定] ボタンをクリックする
切替パターン設定ダイアログが表示されます。

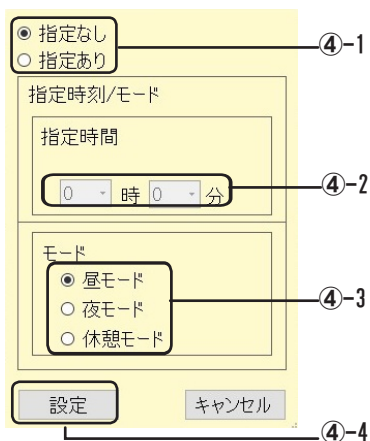
切替No

- パターン1
- パターン2
- パターン3
- パターン4
- パターン5
- パターン6
- パターン7
- パターン8

設定 キャンセル

- ②-1 [切替No] ラジオボタンをクリックする
- ②-2 [設定] ボタンをクリックする

- ③ 設定するモードパターンの [モードパターン切替] ボタン (パターン1~パターン8) をクリックする
現在のモードパターンの設定内容が表示されます。
- ④ モードパターンの [設定] ボタンをクリックする
モードパターン設定ダイアログが表示されます。



- ④-1 切替時刻の「指定あり」 / 「指定なし」を選択する
- ④-2 <指定ありを選択した場合>
指定時間 (0:00~23:59) を選択する
- ④-3 <指定ありを選択した場合>
モードを「昼モード」/「夜モード」/「休憩モード」から選択する
- ④-4 [設定] ボタンをクリックする
- ⑤ [書込] ボタンをクリックする



ワンポイント

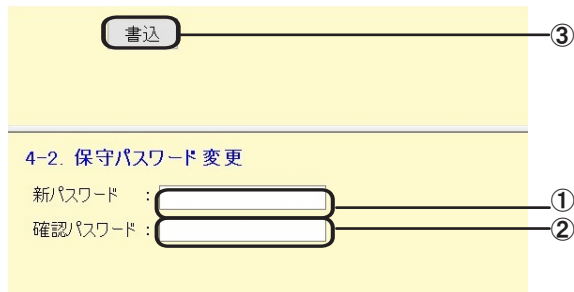
- ある曜日を各週毎に平日/休日を設定するには
モード曜日では、平日のモードパターン (パターン1以外) を設定してください。
(例) 第2週と第4週の月曜日を休日と設定する場合
休日モード曜日: 第2週と第4週の月曜日を休日と設定する。
モード曜日 : 月曜日はパターン1以外を設定する。
※ 第2週と第4週の月曜日は、休日モード曜日の設定により休日となり、パターン1に設定されたパターンでシステムモードが切り替わります。
※ 第1週、第3週、第5週の月曜日は、休日モード曜日の設定により平日となり、モード曜日に設定されたパターンでシステムモードが切り替わります。



お知らせ

- モードパターン1は、休日のモードパターンとして使用されますので、休日のシステムモード内容に設定してください。

■ 保守ログインパスワードを変更する



- ① 新規のパスワード (半角英数字5~8文字) を入力する
- ② 確認用のパスワードを入力する
- ③ [書込] ボタンをクリックする

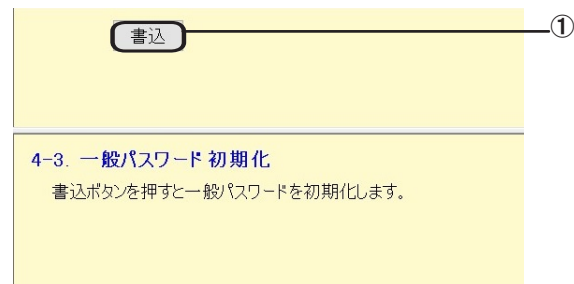


お知らせ

- 再度パスワードを変更する場合には、1回ログアウトを行ってください。

■ 一般ログインパスワードを初期化する

一般ユーザ向けパスワードがわからなくなったとき、一般ユーザ向けパスワードをすべて初期化することができます。



- ① [書込] ボタンをクリックする
一般向けのパスワードがすべてお買い求め時の設定になります。

ホテルユーザ向けデータ項目 の登録・設定

祝日設定と料金テーブルの設定を行います。操作するには、ホテルユーザのパスワードでログインする必要があります。

■ 祝日を設定する

3-1. 祝日設定

1	月	日
2	月	日
3	月	日
4	月	日
5	月	日
6	月	日
7	月	日

- ① [読み出し] ボタンをクリックする
- ② 月日を入力する
- ③ [書込] ボタンをクリックする

■ 料金テーブルを設定する（国内、国際、携帯／他）

国内、国際、携帯／他ともに、設定方法は同じです。

3-2. 料金テーブル設定(国内)

設定単位 終日(昼データが有効) 時間帯別

距離段階	単位時間	単位料金	単位時間	単位料金	単位時間	単位料金
市内	秒	円	秒	円	秒	円
隣接	秒	円	秒	円	秒	円
~20Km	秒	円	秒	円	秒	円
~30Km	秒	円	秒	円	秒	円
~60Km	秒	円	秒	円	秒	円
~100Km	秒	円	秒	円	秒	円
~170Km	秒	円	秒	円	秒	円
それ以上	秒	円	秒	円	秒	円

単位時間0~499.5秒
単位料金0~1000円

- ① [読み出し] ボタンをクリックする
- ② 単位時間 (0~499.5秒) を入力する
- ③ 単位料金 (0~1000円) を入力する
- ④ [書込] ボタンをクリックする

■ ホテルログインパスワードを変更する

4-4. ホテルパスワード変更

新パスワード :

確認パスワード :

書込

- ① 新規のパスワード（半角英数字5~8文字）を入力する
- ② 確認用のパスワードを入力する
- ③ [書込] ボタンをクリックする

● お知らせ

- 再度パスワードを変更する場合には、1回ログアウトを行ってください。

エラーメッセージ一覧 (1/2)

各画面では、操作内容によって、以下のエラーが表示されます。

エラーメッセージ	意味
IPアドレスを入力してください。 例：10.0.0.254	ログイン先の主装置のIPアドレスが未入力だった。
SIP圏外転送先(外線)は半角数値, *, #の何れかを設定して下さい。	「SIP圏外転送先設定(外線)」に設定できない文字が入力されていた。
SIP圏外転送先(内線)は半角数値, *, #の何れかを設定して下さい。	「SIP圏外転送先設定(内線)」に設定できない文字が入力されていた。
Webデータ設定禁止	指定された内線番号の「10-21-15 Webデータ設定可否」が「許可」になっていなかった。
グループ名称の文字数がオーバーしています	「グループ名称」に入力されている文字数が制限を超えていた。
このパスワードは設定できません。	設定できないパスワードだった。
ご利用になれない文字が含まれています。	「テロップメッセージ」に設定できない文字が入力されていた。
ご利用になれない文字がメッセージに含まれています	「メッセージ」に設定できない文字が入力されていた。
サーバからの応答がありません。 ネットワークの状態と、データ設定を確認してください。	ファームウェア更新問い合わせ先サーバからの応答がなかった。
パスワードが間違っているか既にログインしているユーザーがいます。	ログインしようとしたが、パスワードが間違っているか既にログインしているユーザーがいた。
パスワードの初期化に失敗しました	パスワードの初期化が出来なかった。
メッセージ数オーバーです。	「テロップメッセージ」に入力されている文字数が制限を超えていた。
メッセージ入力数オーバーです	「インスタントメッセージ」に入力されている文字数が制限を超えていた。
ログインに失敗しました 対象外のバージョンです	指定された主装置が、サポート対象外だった。
暗証番号が正しくありません	インスタントメッセージの登録に必要な暗証番号が正しくなかった。
外部保留音源の変更はできません	「02-06-03外線保留音設定」が「外部音源」になっている端末が1個以上あった。
空文字は設定できません。	料金テーブルに未入力の欄があった。
桁数オーバーです。	入力されている文字数が制限を超えていた。
月の値が不正です	「月」に設定できない値が入力されていた。
月を入力してください	「月」が未入力だった。
現在日時より過去の日時又は現在日時から3分以内の日時は予約できません。	入力したレポート予約時間が現在時刻から3分以内だった。
指定された端末には、設定できるワンタッチキーがありません	指定された端末にワンタッチキーが1個も割り当てられていなかった。
指定された端末には、設定できる回線キーがありません	指定された端末に回線キーが1個も割り当てられていなかった。
指定された内線番号は汎用の予約番号です	入力された内線番号がシステムの予約番号だった。
指定された内線番号は欠番です	入力された内線番号が存在しなかった。
時の値が不正です	「時」に設定できない値が入力されていた。
時を入力してください	「時」が未入力だった。
失敗しました。 ネットワークの状態と、データ設定を確認してください。	ファームウェア更新問い合わせ先サーバから想定外の応答が返ってきた。

エラーメッセージ一覧 (2/2)

エラーメッセージ	意味
主装置との接続中にエラーが発生しました。 主装置の状態を確認してください。	ログイン中、主装置との接続に失敗した。
主装置との通信が切断されました。 ログアウトします。	ログイン後、主装置との通信ができなくなった。
設定できない文字が入力されています。	設定できない文字が入力されていた。
全角文字が入力されています。	全角文字が設定できない項目に対して、全角文字が入力されていた。
送信先に設定出来ません。送信先指定数オーバーです	インスタントメッセージの送信先数が上限を超えていた。
単位時間が不正です	「単位時間」に設定できない値が入力されていた。
端末種別が正しくありません	入力された内線番号の端末種別が、設定対象外のものだった。
同じパスワードを入力してください。	「新パスワード」と「確認パスワード」の内容が違った。
読み出したときの内線番号と違います	「書込」を行った時の内線番号が、「読出」を行った内線番号と違った。
読出し(書込み)で失敗しました。やり直して下さい 内線SIP認証用パスワードは英字(大文字/小文字)、数字、記号(!\$%&'**,-./;=?`_)の何れかを設定して下さい。	「読出」または「書込」で何らかのエラーが発生した。
内線SIP認証用ユーザ名は英字(大文字/小文字)、数字、記号(!\$%&'**,-./;=?`_)の何れかを設定して下さい。	「内線SIP認証用パスワード」に設定できない値が入力されていた。
内線SIP認証用ユーザ名は英字(大文字/小文字)、数字、記号(!\$%&'**,-./;=?`_)の何れかを設定して下さい。	「内線SIP認証用ユーザ名」に設定できない値が入力されていた。
内線番号が読み出されていません	「読出」を行わずに「書込」を行った。
内線番号が入力されていません	「内線番号」が未入力だった。
内線番号が変更されています	「書込」を行った時の内線番号が、「読出」を行った内線番号と違った。
内線番号は半角の[0123456789*#]以外は使用出来ません	「内線番号」に設定できない値が入力されていた。
内線番号は半角数値、*、#の何れかを設定して下さい	「内線番号」に設定できない値が入力されていた。
内線番号は変更できませんでした	内線番号の変更に失敗した。
内線名称は変更できませんでした	内線名称の変更に失敗した。
日の値が不正です	「日」に設定できない値が入力されていた。
日を入力してください	「日」が未入力だった。
年の値が不正です	「年」に設定できない値が入力されていた。
年を入力してください	「年」が未入力だった。
半角の[0123456789*#]以外は入力不可とする	ダイヤルとして設定できない値が入力されていた。
半角カンマは使用できません	半角カンマが入力されていた。
分の値が不正です	「分」に設定できない値が入力されていた。
分を入力してください	「分」が未入力だった。
料金は1000円以下で設定してください	「単位料金」に1000円より大きな値が入力されていた。
名称の文字数オーバーです。	電話帳の名称文字数が制限を超えていた。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：<http://web116.jp/ced/>
<http://flets-w.com/solution/>

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT 通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT 通信機器お取扱相談センタ

■ NTT 東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： **0120-970413**

※携帯電話・PHS・050IP 電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間 9：00～17：00

※年末年始 12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■ NTT 西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： **0120-248995**

受付時間 9：00～17：00

※年末年始 12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

©2018 NTTEAST・NTTWEST



本 3474-1(2020.1)